

令和 5 年度第 3 回はちのへ文化のまちづくりアドバイザーボード会議で出された意見への対応状況について

No.	発言の事項	担当課	要望・意見等の内容	対応の状況
1	アート広場ひろば交流会	文化	ひろば交流会において意見交換の時間をつくってほしい。	7/19開催のひろば交流会はパネリストを2名に減らし参加者と意見交換する時間を設けることにしました。
2	(全体) 情報発信	文化	情報発信について学ぶ、話し合う場を設けてはどうか。アート広場でやってはどうか。	今後のアート広場のテーマの一つとして検討します。
3	(全体) アーカイブ	文化	アーカイブのやり方について考える機会を設けてはどうか。指針・取り方・ルール・フォーマットを定めていくことが必要。	11月開催の2回目のひろば交流会では、伝統芸能をテーマにする予定です。まずはその中でアーカイブについても意見を伺いたいと考えています。
4	(全体) 情報の伝え方	文化	展覧会のフックとなるようなタイトル出しに工夫が必要。コピーライターによる研修会を開催するなどしてほしい。	今後のアート広場のテーマの一つとして検討します。
5	美術館のテーマ・コンセプト	美術館	美術館のテーマ・コンセプトの分かりにくさへの対応。少しわかりにくいものを伝える、学んでもらうための工夫が必要。	令和 5 年度は、これまでの、広報はちのへやHPに加えて、アートファーマーによるリーフレットの作成や、機会をとらえて説明を行いました。 ・八戸地域社会研究会R5.11/2 (館長) ・まちなか高専祭R5.12/9 (副館長) ・ふるさと交流フォーラムR6.2/13 (市長、館長) ・アートの広場交流会R6.2/23 (副館長) ・鈴木コレクション：トークイベント「美の殿堂ができるまで」R6.2/25 (館長) ゲスト：暮沢(くれさわ)剛(たけ)己(み)ー東京工科大学デザイン学部教授日本の美術評論家 令和 6 年度は、建築ガイドツアーなど従来の取り組みに加えて、美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、体験を通して展覧会などの様子をSNS等で発信する「(仮称) 美術館広報部」や、館内にもものづくりができる場所を設け、中心街での中高生の活動場所となる「(仮称) ものづくり部」に取り組むことにしています。

No.	発言の事項	担当課	要望・意見等の内容	対応の状況
6	美術館の情報発信	美術館	情報がなかなか入らないという声への対応。 LINEとヒストリアを使い多角的な取組をしたい。	令和6年度は、「元気な八戸づくり」市民提案事業を活用して、八戸歴史文化発信事業実行委員会（理事長：小倉学氏）との協働により、「共に創る！アートのまちづくり魅力発見事業」に取り組んでいます。文化的視点で街の良さや楽しみ方を市民に再認識してもらうことで市街地活性化につなげることを目的としており、歴史・文化・芸術などの活動団体・個人を八戸市美術館の「共創パートナー」として募り、連携を図りながら文化的な財産・スポットとして広く発信します。具体的には、情報発信用の公式LINEアカウント（名称：ヨッテミッテ）を作成し、共創パートナーのから情報収集を行い、イベント等の情報発信を週1回以上行うこととしています。令和6年7月から運用開始予定です。
7	美術館の実績、目標設定	美術館	来館者数やお客様の反応。数字としての実績や目標設定を示す。周りの商店等への波及効果を示してほしい。	・八戸市新美術館管理運営基本計画において、目標利用者数を9万人と設定しており、令和4年度は119,983人、令和5年度は109,277人の来館者がありました。 ・令和5年度に行ったアンケート調査（回答者107人）では、来館者の企画展に対する満足度（とても満足＋満足）は、「美しいHUG!」が82%、「ロートレックとベル・エポックの巴里-1900年」が90%、「藤井フミヤ展 Fumiyart2024」が93%でした。併せて中心街で使った金額を聞いたところ、1,000円未満が28%、1,000円～5,000円が44%、5,001円～10,000円が11%、10,001円以上が16%となっています。
8	コレクション展、学校連携	美術館	コレクション展や学校連携をしっかりとやっている。伝わるよう工夫が必要	令和6年度以降も、これまで以上に美術館に足を運んでもらえるよう、展覧会やプロジェクトの計画をできるだけ早い段階で学校へ周知し、年間行事計画に組み込んでいただくよう努めていきます。 また、学校連携における活動実績の情報発信については、HPへの掲載はもとより、令和6年度は冊子を作成する予定であり、取組周知に努めます。
9	展覧会の会場への導線	美術館	展覧会などをやっている部屋への導線が必要	令和6年度は、エントランス入口付近にデジタルサイネージを設置し、展覧会等の開催案内に使用予定。場所がわかりやすく配置図を添付するなどし工夫します。